

西原東中なぎなた部 JJJにあり

3月に開催された第34回若獅子旗なぎなた大会において、西原東中学校なぎなた部の山田望来さん・山田蒼彩さん・仲宗根早希さん・与那嶺優さんが団体試合の部で1位、山田蒼彩さんが個人試合の部で2位、演技競技の部で喜屋武安純さんと桃原凛さんのペアが3位と優秀な成績を収め、上間町長に結果を報告しました。



上間町長は「優勝おめでとうございます。今後も練習に励み、成長することを期待します」と述べました。

こいのぼりがいっぱい

健やかな成長を願うことを目的とした、第10回手づくり鯉のぼり掲揚式(西原町社会福祉協議会主催・大城幸哉会長)が、4月27日に西原町中央公民館駐車場で行われ、参加した坂田保育所や西原南幼稚園など7園の園児が、力を合わせて大きな鯉のぼりを掲げました。

園児がつくった小さな鯉のぼりも駐車場全体に掲げられ、それを見た園児からは「たくさん鯉のぼりが泳いでいる」「あそこにある鯉のぼりは、ぼくのだよな」と指差しながら、笑顔があふれていました。



母の願い おまじない

西原町内の3児童館で活動するファミリークラブ会員の母親たちが、町立4小の学校の新一年生のために手作りのお守り(399個)をプレゼントしました。お守りは子どもたちの健全育成と交通安全を祈願したもので、子どもたちが「無事におうちへ帰ってくる」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。

※ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、児童館を拠点として、ごもたちの健全育成を目指して活動しています。



プレゼントのようす(南小)



ファミリークラブ

わわらこ ジュニアダンス

西原町をPRすることを目的に活動しているNSBP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)が、さわりんをデザインに取り入れたピンバッジ2点を開発しました。

「N」のエンブレムが目を引くデザインを考えた新川みくりさん(浦添工高3年)は「町民が西原町の文化や歴史を伝え、来訪者をおもてなしする気持ちを表現しました」と述べました。また、平良泉綺さん(首里高3年)は本と鉛筆、さわりんを描き「文教のまちにしはら」を表現しました。

※今後は商品化を検討しています。



きらきらビーチ 海開き

西原きらきらビーチの海開きが、4月22日にクリード西原マリパークで開催されました。「棚原ミルク太鼓」の演舞や「LAIEADS」によるダンス、「坂田小学校吹奏楽部」による演奏などのアトラクションが会場を盛り上げました。

同ビーチでは、海水浴やマリンスポーツ、ビーチバレーやビーチサッカー、バーベキューなどを楽しむことができ、町内外から多くの方が訪れています。



きらきらビーチ

赤十字社からの新車を配備

赤十字災害救護連絡車の引渡式が、4月24日に日本赤十字社沖縄県支部で行われ、同支部から西原町分区(上間町分区長)に対し、鍵と車が引き渡されました。今回で3回目の車両配備となります。上間町分区長は「赤十字の活動は1世帯5000円の日本赤十字社社資などを財源としています。5月から始まる社資募集運動や災害発生時の救護活動に即時対応できるよう、車両を有効に活用し、役立てていきます」と述べました。



寄贈する比嘉幹郎副支部長

愛和保育園の新園舎落成

町の認可保育園である愛和保育園(上間浩也園長)の新園舎が3月に完成し、落成式が4月16日に行われました。町や県の安心子ども基金事業補助金を活用し建設された新園舎により、定員は30名増えて150名となり、町の待機児童解消につながると期待されています。

上間園長は「新園舎が完成したことを嬉しく思います。保育を通じて、子どもたちをはじめ、ご家族のみなさまへ幸せを運べる園として職員一同全力で取り組みます」と述べました。



上間園長



文化財コラム

『西原富士』を知っていますか?

運玉森は、西原町と与那原町の境界に位置し、標高一五八一メートル、ピラミッド状の稜線を持っています。見る場所によって姿を変える運玉森ですが、本町からの姿は、その美しさから「西原富士」とも称され、我が町のシンボルとして町歌や町内各小中学校の校歌などに取り入れられています。頂上からは西原町の町並みや知念半島、中城湾に浮かぶ島々、マリントウを一望することができます。本町観光キャラクターさわりのテーマソングでも「運玉森から見渡すよ みどり豊かな西原で」と歌われていますね。最近では、運玉森に隠れ住んでいたと伝承される義賊「運玉義留」を題材にした創作演劇「さわりんと運玉義留」が上演されました。

このように、みなさまに周知されている運玉森ですが、実際に登ったことのある方はどのくらいいるのでしょうか。私も約二〇年前までは家族で登っていましたが、それもいつの間になくなってしまいました。周囲からも「昔は登っていたけれど最近では…」という声がよく聞かれます。そして、町内外の方から「運玉森への行き方を教えてください」「運玉森は登れますか」などの問い合わせも多いため、昨年八月、文化財係で与那原町側の入口から登って見たところ、頂上までは約一〇分程度の道のりで、眼下には素晴らしい景色が広がっていました(掲載写真はその時に撮影したものです)。今後は、本町側からの登頂ルートを確認した上で、その整備についても検討していく必要があると考えています。

我が町のシンボルである運玉森から、風光明媚な景色をご覧になつてはいかがでしょうか。移り変わる西原町の様子を垣間見ることができるはずです。また、あらためて「西原富士」とも呼ばれるその姿を見上げてみるのもいいかもしれません。

お問い合わせ 教育部 生涯学習課 文化財係 九四四・四九九八